

### 第3章 啓発事業、学会発表等

#### 3.1 啓発事業

##### (1) 環境学習施設運営事業

環境学習コーナー、図書コーナー、視聴覚コーナー等を備えた学習施設において、環境に関する情報の提供及び啓発を実施しており、平成 29 年度は 1,167 名の利用があった。また、団体利用者に対しては、研修施設を活用し、環境問題に関する講座や施設見学を実施し、環境問題に対する一層の理解を図った(表 1)。なお、利用者の内訳は、団体を含めた一般利用者が 173 名、教育関係が 88 名、事業者が 628 名、行政関係が 278 名であった。

表1 平成 29 年度団体利用一覧

期間	団体名	内容	人数
7月	市原市教育委員会 生涯学習センター (いちほら市民大学)	概要説明・講義「PM2.5 について」「放射能と放射線」・施設見学 (放射能棟・大気測定局・残響室/無響室)・アンケートは後日送付	79
8月	千葉県夢チャレンジ体験スクール (サイエンススクール)	概要説明・施設見学 (放射能棟・残響室/無響室・大気測定局)・音って何だろう?(音の面白実験、騒音測定体験)	4
8月	国立環境研究所 I型共同研究	I型共同研究「アオコが生産するシアノトキシンのモニタリングに関する検討」平成 29 年度第一回研究打合せ	5
10月	個人グループ	施設見学 (放射能棟・大気測定局・残響室/無響室)・アンケート	8
1月	越谷市自治会連合会 (さいたま県越谷市市民協働部市民活動支援課)	概要説明・施設見学(放射能棟・大気測定局・残響室/無響室)	17
1月	千葉県立長生高等学校スーパーサイエンスハイスクール理数科 第1学年	①騒音発生状況ビデオ映像の騒音計を用いた解析 ②パネルテスト及び三点比較式におい袋法による臭気濃度の測定 ③分析走査型電子顕微鏡を用いたアスベストの観察と元素分析 ④放射能の測定 (簡易分析含む) (4 班分割)	41
		合 計	154

##### (2) 情報提供業務

###### ① 啓発冊子の発行

最近の環境問題や環境研究センターの研究内容をわかりやすく紹介する「環境だより」を年間5回発行した。啓発冊子として「環境用語解説付きメモ帳」を発行した。

###### ② 情報の収集・整備

環境関連の書籍や DVD、環境白書等の市町村情報等を収集、整理することにより、情報の整備を行った結果、平成 29 年度末において、書籍は、国・県関係 690 冊、市町村関係 226 冊、一般出版物 1,856 冊、雑誌 3,616 冊等、計 6,388 冊、DVD は 32 タイトル、CD は 68 タイトル、啓発用パネルは 49 枚を所蔵している。

③ パネル、DVD等の貸出

県民の方々や、事業者、市町村に対して、多くの啓発機会を提供するため、情報提供やパネル、DVD等の貸出の事業を実施した。

なお、平成23年度より環境政策課から「環境学習用ビデオ・DVDライブラリー」及び「千葉県環境学習キット」の移管を受け、パネル等の貸出事業の一体化を図った。

④ホームページによる情報提供

「大気汚染による植物観察」、「しずくちゃんの冒険」、「川の汚れ浄化ゲーム」、書籍、DVDタイトルリスト、啓発用パネルリスト等、環境学習に関する情報を環境研究センターホームページにおいて提供した。

(3) 啓発業務

① 環境講座

子どもから環境学習指導者を目指す人を対象として、環境や環境問題の現状について関心を高め、理解を深めるとともに、環境学習・環境保全活動を推進する人材の育成を行うことを目的とした環境講座を開催した。開催状況は表2のとおりである。

表2 平成29年度環境講座開催状況

開催月	テーマ	講師等	場所	参加人数(人)
9	リーダー養成講座～はじめの 一歩 この指とまれ～	八木雄二((特活)東京港 グリーンボランティア)	東京都東京港野鳥公園(東 京都大田区)	16
11	リーダー養成講座 スキルア ップ講座～ひろげよう・つな げよう～(中・上級者向け)第 1回	小川かほる(小川かほる 環境教育事務所)	打瀬ふれあい緑地、他(千 葉市)	9
11	リーダー養成講座 スキルア ップ講座～ひろげよう・つな げよう～(中・上級者向け)第 2回	吉田知津子(ハンズオン! 埼玉副代表理事、広 報プランナー)	千葉市生涯学習センター (千葉市)	10
7	こどもエコクラブサポーター 交流会	東尚子(こどもエコクラブ 全国事務局)	きぼーる(千葉市)	8
7	施設見学 東京湾の人工干 潟	国土交通省横浜港湾空 港技術調査事務所所 員、千葉港湾事務所所 員	国交省横浜港湾空港技術調 査事務所(神奈川県横浜市)	41
7	親子で施設見学 ～汚れを 落とす仕組み～	ライオン(株)	ライオン(株)千葉工場(市原 市)	45
8	親子で体験～川・里山で生き 物探し～	千葉県いすみ環境と文 化のさとセンター職員	千葉県いすみ環境と文化の さとセンター(いすみ市)	42
8	気象キャスターと体験する 「地球温暖化」	池田未来(NPO 法人気 象キャスターネットワー ク)	南行徳市民センター(市川 市)	31

9	南極の体験を活かした住まいづくり	(株)ミサワホーム総合研究所所員	ミサワホーム(株) MISAWA PARK TOKYO (東京都杉並区)	18
10	子ども環境会議ちば	子どもエコクラブ全国事務局	幕張メッセ国際会議場(千葉市)	68
10	キノコから見えてくる自然～キノコ探しを体験してみよう～	吹春俊光氏(千葉県立中央博物館)、坂本文雄氏(ちば千年の森をつくる会)	君津市豊英	41
10	気候変動の適応策ー気象防災ー	岩谷忠幸氏(NPO 法人気象キャスターネットワーク副代表)	千葉市生涯学習センター(千葉市)	55
11	環境研究センターにおける様々な調査研究等の紹介	当センター職員(1)大気騒音振動研究室 横山新紀、(2)廃棄物・化学物質研究室 栗原正憲、(3)地質環境研究室 荻津達、(4)水質環境研究室 中田利明	船橋市勤労市民センター(船橋市)	39
12	化学物質ってなあに？～正しく知ってかしこく暮らそう～	小倉久子氏(元千葉県環境研究センター職員)	浦安市民プラザ(浦安市)	26
1	冬鳥に会いに行こう！	我孫子野鳥を守る会、我孫子市鳥の博物館職員	手賀沼周辺及び鳥の博物館(我孫子市)	27
			合計	476

## ② 環境月間関連行事

環境月間の関連行事として、研究室の一般公開を次のとおり実施した。参加者数は全体で 177 名であった。

- ・市原地区において6月5日から9日まで
- ・稲毛地区水質環境研究室において6月5日から6月9日まで
- ・稲毛地区地質環境研究室において6月5日から6月11日まで

③ 講師等の派遣状況

表3に講師等の派遣状況を示した。

表3 講師等派遣状況

No	室名	実施月日	講習会名	題名	担当者	会場
1	大 気 騒 音	5.24	大気環境等測定技術講習 会 悪臭測定	三点比較式臭袋法に関する 実習	井上智博 大橋英明	当センター市原 地区（市原市）
2	振 動	5.25	大気環境等測定技術講習 会 大気環境測定	大気環境常時監視測定に関 する講習	内藤季和 渡邊剛久	当センター市原 地区（市原市）
3		5.29-30	大気環境等測定技術講習 会 ばい煙測定	ばい煙測定方法等に関する 講習	横山新紀 石井克巳 堀本泰秀 渡邊剛久	当センター市原 地区（市原市）、花 見川第一終末処 理場（千葉市）
4		5.31-6.2	大気環境等測定技術講習 会 騒音・振動測定 初 級コース	騒音・振動の測定に関する実 習	石橋雅之 上治純子 堀本泰秀 大橋英明	当センター市原 地区（市原市）
5		6.6-7	大気環境等測定技術講習 会 騒音・振動測定 中 級コース	騒音・振動の測定に関する実 習	石橋雅之 上治純子 堀本泰秀 大橋英明	当センター市原 地区（市原市）
6		8.1-3	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	大気概論、大気特論、大規模 大気特論	井上智博 石井克巳 渡邊剛久	自治会館（千葉 市）
7		8.4	千葉県夢チャレンジ体験 スクール（サイエンスス クール）	音ってなんだろう？	石橋雅之 上治純子 堀本泰秀 市川有二郎 大橋英明	当センター市原 地区（市原市）
8		8.23	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	騒音振動特論（騒音振動測定 技術）	石橋雅之	自治会館（千葉 市）
9		8.29-31	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	大気概論、大気特論、大規模 大気特論	井上智博 石井克巳 渡邊剛久	自治会館（千葉 市）
10		8.31	環境モニタリング技術研 修（大気コース）	委託管理の実務	内藤季和	環境調査研修所 （埼玉県所沢市）
11		10.12	平成29年度環境技術職員 研修（中堅職員技術研修）	大気汚染の基礎知識、大気拡 散、大気発生源の知識に関す る講習	井上智博 横山新紀 堀本泰秀 渡邊剛久	当センター市原 地区（市原市）

12	大気 騒音 振動	11.29	日本環境技術協会常時監視講習会環境大気常時監視技術講習会	測定機の維持管理、測定値の確定及び管理	内藤季和	飯田橋レインボービル（東京都新宿区）
13		1.30	長生高等学校スーパーサイエンスハイスクール	放射能、悪臭、騒音に関する演習	井上智博 内藤季和 石橋雅之 渡邊剛久 市川有二郎 大橋英明	当センター市原地区（市原市）
14		2.20	長生高等学校スーパーサイエンスハイスクール	大気中の化学物質のリスク	内藤季和	長生高等学校（茂原市）
1	廃棄物 化学物質	4.11	平成29年度水質汚濁防止法に基づく立入検査等に係る研修会	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく立入検査実施時の注意点及び測定結果の取扱い	清水 明	当センター稲毛地区（千葉市）
2		5.29-30	平成29年度ばい煙測定技術市町村等職員講習会	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく立入検査実施時の注意点及び測定結果の取扱い	清水 明	当センター市原地区（市原市）、花見川第一終末処理場（千葉市）
3		6.12	平成29年度一般廃棄物処理施設立入検査等に係る研修	最終処分場立入検査時のチェックポイント、水質分析記録のチェック方法、地下水調査の基礎、焼却灰の採取について	森崎正昭 堤 克裕 大石 修 栗原正憲	当センター市原地区（市原市）
4		8.29	公害防止管理者等国家試験受験者講習会	ダイオキシン類概論、測定技術	堤 克裕 栗原正憲	自治会館（千葉市）
5		1.16	公害防止管理者育成研修（化学物質関係）	千葉県における残留性有機汚染物質の調査について	栗原正憲	千葉県教育会館（千葉市）
6		1.30	長生高等学校スーパーサイエンスハイスクール	分析走査電子顕微鏡を用いたアスベストの観察と元素分析	堤 克裕	当センター市原地区（市原市）
7		2.16	第33回全国環境研究所交流シンポジウム	非破壊的診断法（電磁探査）の紹介	大石 修	国立環境研究所（茨城県つくば市）
8		2.20	長生高等学校スーパーサイエンスハイスクール	環境の調査から対策へ、そして未来へ	吉井直美	長生高等学校（茂原市）
9		3.22	廃棄物資源循環学会関東支部 講演会・研究発表会	千葉県環境研究センターの紹介	大石 修	（株）大林組本社（東京都港区）

1	水質環境	4.10-11	水質汚濁防止法に基づく立入検査等に係る研修	平成 29 年度水質汚濁防止法に係る基準超過の状況、排水処理の基礎知識について、顕微鏡でみた活性汚泥の中の生物相 他	半野勝正 中田利明 木内浩一 横山智子	当センター稲毛地区（千葉市）
2		4.19	浄化槽事務に係る新任職員研修会	浄化槽の構造と処理機能について	木内浩一	千葉県庁南庁舎（千葉市）
3		5.12	水質汚濁防止法に基づく立入検査等に係る実地研修	水質汚濁防止法に基づく立入検査等に係る実地研修	半野勝正 木内浩一 中田利明 丹澤貴大	花見川終末処理場（千葉市）
4		7.6	夷隅川等浄化対策推進協議会研修会	川と地域環境	飯村 晃	いすみ市役所（いすみ市）
5		7.18-20	公害防止管理者等国家試験受験者講習会	水質概論、水質分析、水処理技術	半野勝正 木内浩一 中田利明	自治会館（千葉市）
6		7.21	平成 29 年度水質分析委託に関する技術研修会（市町村担当職員研修）	水質分析委託に関する知識、実務	半野勝正 中田利明 飯村 晃	当センター稲毛地区（千葉市）
7		8.22-24	公害防止管理者等国家試験受験者講習会	水質概論、水質分析、水処理技術	半野勝正 木内浩一 中田利明	自治会館（千葉市）
8		10.13	平成 29 年度環境技術職員研修（中堅職員技術研修）	排水処理の知識（概論）（特論）	半野勝正 中田利明 木内浩一 横山智子	当センター稲毛地区（千葉市）
9		11.16-17	打瀬中学 EX 講座	環境学習に関する講義、実習	中田利明	当センター稲毛地区（千葉市）
10		11.22	成田市生涯大学院教養講座	水質汚濁について	飯村 晃	成田市生涯大学校（成田市）
11		3.22	千葉市生涯学習センター講座	千葉市民の水がめの現状について	飯村 晃	千葉市生涯学習センター（千葉市）
1	地質環境	4.10	水質汚濁防止法に基づく立入検査等に係る研修会	地下水立入検査時の採水方法について	加藤晶子	当センター（稲毛地区）

2	地質環境	6.22-23, 6.29-30	地質環境対策技術研修	土壌汚染対策法、地質汚染調査概論、地質学概論、水文地質学概論、井戸諸元調査法、地下水流動調査法、地下空気汚染調査法、地層汚染調査法、地下水汚染調査法、地質汚染浄化法、露頭調査、実習	小倉孝之 風岡 修 香川 淳 加藤晶子 荻津 達 吉田 剛 八武崎寿史 潮崎翔一	当センター稲毛地区（千葉市）
3		11.10	加茂公民館主催事業「田淵の地層」講演会	田淵の地層	風岡 修	加茂公民館（市原市）
4		2.23	産業技術連携推進会議知的基盤部会地質地盤情報分科会平成29年度講演会「首都圏の地質地盤」	東京湾岸低地北部の千葉県側での沖積層・人工地層の層序・層相と液状化・流動化のメカニズムについて	風岡 修	北とぴあ（東京都北区）
5		3.25	千葉県立中央博物館平成29年度春の展示「ところ変われば備えも変わるあなたの街と自然災害」関連講演会	千葉県内の液状化・流動化現象とそのメカニズムについて	風岡 修	県立中央博物館（千葉市）
1		企画情報	5.26	環境講座（袖ヶ浦市）	地球温暖化について	熊谷直行
2	7.24		千葉県生涯大学校卒業生市原会	地球温暖化について	熊谷直行	市原市五井公民館（市原市）
3	7.26-27		平成29年度環境教育指導法研修	環境問題（水質、廃棄物、地球温暖化）	熊谷直行	総合教育センター（千葉市）
4	8.26		「パレット柏環境フォーラム」における環境に関する講演会	地球温暖化に関する最新の知見と動向	熊谷直行	柏市文化・交流複合施設 パレット柏（柏市）
5	9.28		環境シンポジウム千葉会議学習会	地球温暖化に関する最新情報	熊谷直行	当センター稲毛地区（千葉市）
6	12.23		子供のための環境学習会	地球温暖化	熊谷直行	フレスポ稲毛（千葉市）
7	1.23		長生高等学校スーパーサイエンスハイスクール	公害の発生から環境の保全へ	櫻岡裕之	長生高等学校（茂原市）
8	2.3		暮らしと環境を考える講座 第1回	地球温暖化がもたらす影響～地球温暖化と世界のかかわり～	熊谷直行 植村匡詞	袖ヶ浦市役所旧館（袖ヶ浦市）

⑤ 関連行事への参画

センター以外の各主体において実施される環境問題に関する啓発イベント等に参画した。  
 なお、平成 29 年度の状況は表 4 のとおりである。

**表4 関連行事への参画状況**

月日	名称	内容	会場(場所)	主催
4.12, 23, 26 5. 7,10	いちほらアート×ミック ス 2017	「市原の地層」をテーマに した講義と現地見学案内	旧里見小学校(市原 市)	いちほらアート×ミック ス実行委員会
9.23	いちほら環境フェスタ	千葉県地下水利用と地 下水汚染に関するパネル 展示、火山灰の顕微鏡観察	出光会館(市原市)	いちほら環境フェ スタ実行委員会
10.9	エコメッセ 2017 in ちば	・東京湾パネル展示、プラ ンクトン顕微鏡観察、二枚 貝による水質浄化実験 ・地質環境研究室の活動紹 介や東京湾岸埋立地の地 下構造に関するパネル展示	幕張メッセ国際会議 場(千葉市)	エコメッセ 2017in ち ば実行委員会



### 3. 2 学会発表

平成 29 年度においてセンター職員が行った学会等の発表は表 5 のとおりである。

表5 学会発表等

室名	月日	課題名	発表者	学会名称等	会場
大気騒音振動	6.2	千葉県における PM <sub>2.5</sub> 対策検討調査	内藤季和, 市川有二郎, 堀本泰秀, 石井克巳, 大橋英明, 佐々木寛介 <sup>1)</sup> , 宮由可子 <sup>1)</sup> , 瀧岡輝 <sup>1)</sup>	大気環境学会関東支部講演会	ムーブ町屋 (東京都荒川区)
	7.14	航空機騒音に係るアンケート調査結果	石橋雅之	全環研関東甲信静支部騒音振動専門部会	千葉市環境保健研究所 (千葉市)
	9.6	千葉県における降水成分濃度の経年変化 (2)	横山新紀	第58回大気環境学会年会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)
	9.6	千葉県清澄山の降水中硫酸イオンと渓流水濃度の関係 (3)	横山新紀, 井上智博	第58回大気環境学会年会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)
	9.6	全国酸性雨調査 (99) - 乾性沈着 (パッシブ法によるアンモニア濃度) -	横山新紀, 山口高志 <sup>2)</sup> , 多田敬子 <sup>3)</sup> , 箕浦宏明 <sup>4)</sup> , 村野健太郎 <sup>5)</sup> , 大原真由美 <sup>6)</sup>	第58回大気環境学会年会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)
	9.6	2016年12月におけるPM2.5高濃度事例の解析②	石井克巳, 北見康子 <sup>7)</sup> , 長谷川就一 <sup>8)</sup> , 梅田真希 <sup>9)</sup> , 木戸瑞佳 <sup>10)</sup> , 西村理恵 <sup>11)</sup> , 池盛文数 <sup>12)</sup> , 西山亨 <sup>13)</sup> , 山本真緒 <sup>14)</sup> , 中坪良平 <sup>15)</sup> , 船木大輔 <sup>16)</sup> , 山村由貴 <sup>17)</sup> , 浅川大地 <sup>18)</sup> , 菅田誠治 <sup>19)</sup>	第58回大気環境学会年会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)
	9.7	関東甲信静におけるPM2.5のキャラクターゼーション (第8報) (2)	内藤季和, 大橋泰浩 <sup>20)</sup> , 城裕樹 <sup>21)</sup> , 関東地方大気環境対策推進連絡会浮遊粒子状物質調査会議	第58回大気環境学会年会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)
	9.8	バイオマス燃焼に由来するPM2.5一次粒子の有機成分について	市川有二郎, 渡邊剛久, 内藤季和	第58回大気環境学会年会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)

大騒音 振動	11.13-14	千葉県における大気中アンモニア濃度	横山新紀	第44回環境保全・公害防止研究発表会	ホテルセントヒル長崎（長崎県長崎市）
	11.13-14	蛍光X線分析法と酸分解／ICP-MS法によるPM <sub>2.5</sub> 無機元素測定及びその留意点について	堀本泰秀	第44回環境保全・公害防止研究発表会	ホテルセントヒル長崎（長崎県長崎市）
	11.29	千葉県のヒートアイランド実態調査	内藤季和, 井上智博, 岡崎 淳 <sup>22)</sup>	平成29年度全国環境研協議会関東甲信静支部大気専門部会	埼玉県環境科学国際センター（埼玉県加須市）
	11.29	千葉県におけるPM <sub>2.5</sub> 中有機成分の分析結果	市川有二郎, 渡邊剛久, 内藤季和	平成29年度全国環境研協議会関東甲信静支部大気専門部会	埼玉県環境科学国際センター（埼玉県加須市）
廃棄物・ 化学物質	6.7-9	ポストカラム法を用いたLC/MSによるPM <sub>2.5</sub> 中有機化合物の分析法の検討	清水 明, 市川有二郎, 堀本泰秀, 内藤季和	第26回環境化学討論会	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）（静岡県静岡市）
	6.7-9	印旛沼及び手賀沼における既規制化学物質濃度の経年変化	栗原正憲, 清水 明, 中田利明, 横山智子, 飯村 晃	第26回環境化学討論会	静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）（静岡県静岡市）
水質 環境	10.20	弁当製造業における油分除去処理がない活性汚泥処理施設	木内浩一	全環研関東甲信静支部水質専門部会	大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）
	11.13-14	手賀沼における放射性セシウム調査	中田利明, 井上智博, 行方真優 <sup>1)</sup> , 飯村 晃	第44回環境保全・公害防止研究発表会	ホテルセントヒル長崎（長崎県長崎市）
	3.15-17	手賀沼における浮遊物質及び底質中の放射性セシウム調査	中田利明, 井上智博, 飯村 晃	第52回日本水環境学会年会	北海道大学工学部（北海道札幌市）
	3.15-17	東京湾における水質鉛直分布の中長期変動	横山智子, 飯村 晃, 丹澤貴大	第52回日本水環境学会年会	北海道大学工学部（北海道札幌市）

地質環境	8.28	東北地方太平洋沖地震（2011）による東京湾岸埋立地の液状化-流動化現象	香川 淳，古野邦雄 <sup>1)</sup> ，楠田 隆 <sup>1)</sup> ，酒井 豊 <sup>1)</sup> ，吉田 剛，風岡 修	日本第四紀学会 2017年大会	福岡大学（福岡県福岡市）
	9.16	千葉県北西部の沖積層基底面図	潮崎翔一，風岡 修	日本地質学会第 125 学術大会	愛媛大学（愛媛県松山市）
	9.18	東京湾北部の埋立地における層序と 2011 年東北地方太平洋沖地震時の液状化-流動化の層準：船橋市日の出町での調査から	風岡 修，宇澤政晃 <sup>2)</sup> ，檜山知代 <sup>2)</sup> ，荻津 達，八武崎寿史，香川 淳，吉田 剛，加藤晶子，本田恵理 <sup>1)</sup> ，小倉 孝之	日本地質学会第 125 学術大会	愛媛大学（愛媛県松山市）
	9.18	九十九里平野中部における上ガスの分布と地質環境	風岡 修，香川 淳，吉田 剛，加藤晶子，八武崎寿史，荻津 達，潮崎翔一 古野 邦雄 <sup>1)</sup> ，楠田 隆 <sup>1)</sup> ，酒井 豊 <sup>1)</sup> ，山本真理 <sup>1)</sup>	日本地質学会第 125 学術大会	愛媛大学（愛媛県松山市）
	9.18	観測井孔内地下水温が示す地質環境	香川 淳，古野邦雄 <sup>1)</sup> ，潮崎翔一	日本地質学会第 125 学術大会	愛媛大学（愛媛県松山市）
	12.1	千葉県における 2016 年の地下水位変動	香川 淳，古野邦雄 <sup>1)</sup>	第 27 回環境地質 シンポジウム	日本大学（東京都世田谷区）
	12.1	千葉県北西部に広域に連続する難透水層（YK-C1, YK-C2）の分布	吉田 剛，風岡 修，楡井 久 <sup>3)</sup> ，楠田 隆 <sup>1)</sup> ，酒井 豊 <sup>1)</sup> ，古野 邦雄 <sup>1)</sup> ，坂田健太郎 <sup>4)</sup>	第 27 回環境地質 シンポジウム	日本大学（東京都世田谷区）
	12.2	東京湾岸埋め立て地北部の沖積層の岩相層序と人工地層中の液状化-流動化部分市川市～千葉市における調査から	風岡 修，宮地良典 <sup>4)</sup> ，潮崎翔一，小松原 純子 <sup>4)</sup> ，香川 淳，吉田 剛，荻津 達，八武崎寿史，加藤晶子，酒井 豊 <sup>1)</sup> ，古野邦雄 <sup>1)</sup> ，楠田 隆 <sup>1)</sup> ，中澤 努 <sup>4)</sup> ，楡井 久 <sup>3)</sup>	第 27 回環境地質 シンポジウム	日本大学（東京都世田谷区）

地質環境	12.2	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化-流動化現象と沖積層の層序の影響東京湾岸埋立地北部の千葉県浜田川緑地での調査から	風岡 修, 宇澤政晃 <sup>2)</sup> , 檜山知代 <sup>2)</sup> , 潮崎翔一, 八武崎寿史, 香川 淳, 荻津 達, 吉田 剛, 加藤晶子	第27回環境地質シンポジウム	日本大学(東京都世田谷区)
	3.2	東京湾岸埋立地北部での2011年東北地方太平洋沖地震時における液状化-流動化層準と沖積層の影響について	風岡 修, 潮崎翔一, 八武崎寿史, 荻津 達, 吉田 剛, 香川 淳	平成29年度高知大学海洋コア総合研究センター共同利用・共同成果発表会	高知大学(高知県南国市)

(大気騒音振動)

- 1: 日本気象協会 2: (地独) 北海道総合研究機構環境・地質研究本部環境科学研究センター  
3: 岩手県環境保健研究センター 4: (一財) 日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター  
5: 京都大学 6: 大気環境学会中国四国支部 7: 茨城県霞ヶ浦環境科学センター  
8: 埼玉県環境科学国際センター 9: 群馬県衛生環境研究所 10: 富山県環境科学センター  
11: 大阪府立環境農林水産総合研究所 12: 名古屋市環境科学調査センター 13: 三重県保健環境研究所  
14: 奈良県景観・環境総合センター 15: 兵庫県環境研究センター 16: 島根県保健環境科学研究所  
17: 福岡県保健環境研究所 18: 大阪市立環境科学研究センター 19: 国立環境研究所  
20: 山梨県衛生環境研究所 21: さいたま市健康科学研究センター 22: 千葉県環境生活部大気保全課

(水質環境)

- 1: 元千葉県環境研究センター

(地質環境)

- 1: 元千葉県環境研究センター 2: 関東建設株式会社 3: 日本地質汚染審査機構  
4: 産業技術総合研究所

### 3.3 論文等の発表

平成29年度においてセンター職員が執筆した論文等は表6のとおりである。

表6 論文等の執筆

研究室	発行月	課題名	発表者	掲載誌
大気騒音振動	6	Chemical compositions of primary PM2.5 derived from biomass burning emissions	Yujiro Ichikawa, Suekazu Naito	Asian Journal of Atmospheric Environment Vol.11 No.2
	12	2014年度から2016年度に千葉県で分析されたPM2.5中の有機成分	市川有二郎, 渡邊剛久, 堀本泰秀, 石井克巳, 内藤季和	全国環境研会誌第42巻4号
地質環境	7	千葉県北西部における人工地層・“沖積層”の基準ボーリング調査:GS-CB-8 コアの層相と地層物性層序	風岡 修, 宇澤政晃 <sup>1)</sup> , 香川 淳, 吉田 剛, 荻津 達, 八武崎寿史, 潮崎翔一, 中澤努 <sup>2)</sup>	地質調査総合センター速報 No74
企画情報	3	環境講座のアンケート結果から推測する参加者が学びたいテーマ	熊谷直行, 植村匡詞	環境研究センター年報第16号

(地質環境)

1: 関東建設株式会社 2: 産業技術総合研究所

### 3.4 報告書等の執筆、発行

平成29年度における報告書等の執筆、発行は表7のとおりである。

表7 報告書等の執筆、発行

発行月	報告書名	参画者	参画形態
5	放射性物質の動態調査に係わる報告書【第6報】	市川有二郎, 中田利明, 井上智博, 飯村 晃, 行方真優	調査協力
3	平成28年度微小粒子状物質合同調査報告書	内藤季和, 石井克巳	共同調査
3	平成29年度オキシダント二次標準器による校正維持管理業務報告書	渡邊剛久, 内藤季和	委託調査
3	平成29年度化学物質環境実態調査 初期環境調査・詳細環境調査(水質・底質) 結果報告書	清水 明, 中田利明, 山本 徹, 栗原正憲	委託調査
3	都市域の地質地盤図「千葉県北部地域」(説明書)	納谷友規, 野々垣進, 小松原純子, 宮地良典, 中澤 努 <sup>1)</sup> , 風岡 修, 潮崎翔一, 香川 淳, 吉田 剛, 加藤晶子, 八武崎寿史, 荻津 達, 中里裕臣 <sup>2)</sup>	共同研究

(地質環境)

1: 産業技術総合研究所 2: 農研機構

### 3. 5 インターンシップ等による研修生の受け入れ

平成 29 年度におけるインターンシップ等による研修生の受け入れは表 8 のとおりである。

表8 研修生等の受入

月日	研修者数	研修者所属	研修内容	研修受入担当
8.7-23	1 名	千葉大学	クロロフィルの分析, 大腸菌及び大腸菌群の分析, 東京湾水質調査	行方真優, 中田利明, 飯村 晃, 丹澤貴大
8.7-23	2 名	日本大学	クロロフィルの分析, 大腸菌及び大腸菌群の分析, 東京湾水質調査	行方真優, 中田利明, 飯村 晃, 丹澤貴大
8.7-18	1 名	千葉大学	クロロフィルの分析, 大腸菌及び大腸菌群の分析, 東京湾水質調査	行方真優, 中田利明, 飯村 晃, 丹澤貴大
8.21-9.5	1 名	星薬科大学	クロロフィルの分析, 大腸菌及び大腸菌群の分析, 東京湾水質調査	行方真優, 中田利明, 飯村 晃, 丹澤貴大

### 3. 6 国際協力のための国外への職員派遣

平成 29 年度は国際協力のための職員派遣は行っていない。